

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、コミュニケーションを図る資質・能力を育てる「外国語（英語）指導」
2018年9月3日 旭川市立永山南小学校

田中 淳也・尾崎 久美

～小学校外国語（活動）の評価の実際と今後の展望について～

現在の評価

- ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度
- ②外国語への慣れ親しみ
- ③言語や文化に関する気付き

「聞くこと・話すこと」に加え、「読むこと・書くこと」も指導する。

～研究授業より～

★ゲーム

◆Point to game

グループになり、カードをひろげ、教師が言った単語を発音しながら指を指す。

◆Go game

カードは上を向けて広げる。児童の手は頭に置く。教師がGoと言ったカードをとる。

ゲームの例) T : The sea. C : The sea.
T : The mountain go C : 「the mountain」 のカードをとる。

◆Concentration game

カードを裏返しにして広げ、グループの子供達全員で声をそろえて“Where did you go?”と聞くと、カードをめくった児童は“I went to～”と答える。



★ワークシート作成のヒント

- ・4線は真ん中が広いものを使用する。
- ・文科省のホームページからダウンロードしたものを使用すると便利。
(本校では、外国語活動のフォルダに保存されている)
- ・フォントはWe Canの教科書のフォントを使用する。
→文科省のホームページからダウンロードできる。
(本校では、外国語活動のフォルダにインストール方法について保存済み)

a

We can フォントミニ知識
似ている b d p q など、
上下左右逆になっても同じ
にならないように、ユニバーサルデザインになっている。

★その他

- ・授業の中でフォニックス（アルファベットの音）練習を行う。←**継続が大切**
(WC 1 Unit 3 P22 にある“Alphabet Jingle”を活用するとよい。)
- ・学習の流れ：聞く→話す→書くの手順がスムーズ

